

あなたもできる  
**ながら防犯**

県警では県と連携し、「散歩しながら」「買い物しながら」など、日常生活の中で防犯意識を持つことで犯罪を未然に防ぐ「ながら防犯」を推進しています。



佐賀県警察本部  
生活安全企画課  
課長補佐  
いとやま ともひさ  
糸山 智久さん

平成15年ごろ、県内では交通事故を除いた犯罪が年間約1万4千件発生していました。それを防ごうと、各地域の防犯ボランティア活動が活発化して、次第に犯罪が減少しました。しかし近年、高齢化などによりボランティア団体が減っているため、県警では防犯に関わる人の輪を広げようと、一人でもできる「ながら防犯」を推進しています。通勤・通学、散歩や買い物など普段の暮らしの中で、不審者を見かけたなど、気になったことは警察に伝えてください。地域の安全・安心のために皆さんも一緒に取り組みませんか。



参加者にはリストバンドを配布しています！

佐賀県警察  
マスコットキャラクター  
ごろうくん

**問** 佐賀県警察本部  
生活安全企画課  
安全安心まちづくり推進室  
☎0952-24-1111 (代表)  
(または最寄りの警察署の生活安全課まで)



▲グローブやゴミ拾い用の  
トングやライトなども準備！



▲活動の基本は「あいさつ」。  
どんな人にも笑顔で元気に  
声掛けを行います！



▲活動中、「星屑拾い」  
として、地域のゴミ拾い  
も行います。



特集

**地域を走る！地域を守る！**  
**パトラン  
SAGA**



▲清和高等学校陸上部(写真左上)と  
鳥栖工業高等学校駅伝部(写真右下)も賛同し、  
一緒に活動を行うことも

✉ [patorunsaga@gmail.com](mailto:patorunsaga@gmail.com)

お問合せは  
コチラ

Facebook



Instagram



一緒に街を守る  
仲間を募集中！

街頭犯罪の抑止は、安心できるまちづくりに欠かせません。  
今月は住民が中心となって行う地域の防犯活動を紹介します。



◀メンバーには聖火ランナーに  
選ばれた人も！

皆さん、「パトラン」という防犯活動を  
ご存知ですか？パトランとは「パトロー  
ル」と「ランニング」をかけたあわせた造語。  
街を走るランナー一人ひとりが地域を見  
守る「目」となり、みんなが安心して暮  
らせる社会を目指しています。福岡県か  
ら全国に広がった取り組みで、佐賀県で  
も昨年2月「パトランSAGAチーム」  
が発足しました。

印象的な  
赤いTシャツが  
目印！

取材協力

パトランSAGA 代表  
よしども あつし  
吉富 敦思さん

▼2020年2月に佐賀県庁で  
発足式典が行われました。



「目標は佐賀県の街頭犯罪ゼロです。  
県内すべての市町にパトランの輪を広げ  
るため、まずはこの活動を皆さんに知っ  
ていただけたら嬉しいです」と話す吉富  
さん。自分自身の体の健康、人とのつな  
がりの中で生まれる心の健康、そして  
街の犯罪抑止につながるパトラン活動。  
今日も赤いユニホームを着たランナーた  
ちが、地域を見守りながら走っています。

が犯罪をしようとしていた場合、顔を見られただけで『今日はやめ  
ておこう』と思うかもしれません。街頭犯罪は、私たち住民のチカ  
ラで予防できると思っています。』  
パトランの活動は犯罪の抑止  
のためだけにとどまりません。  
昨年、パトラン中のメンバーが  
道路脇に座り込む子どもを保護  
し、佐賀北警察署から感謝  
状を受けたこともありました。  
他にも、点字ブロックが外れて  
いる、街灯が切れているなど、  
道路の危険箇所を見つけることも活動  
のひとつです。パトランナーたちにとっては「人とのつながり」が生  
まれることも大きな魅力。チーム内での  
交流だけでなく、活動に賛同してくれた  
高校生と一緒にパトランを行ったこともあ  
ります。



▲街灯切れを見つけて報告！

決めつけは良くないですが、もしその人  
に必ずあいさつをします。ほとんどの方  
は気持ちよくあいさつを返してくれるの  
ですが、中にはあいさつを返してくれな  
い人もいますよ。『あやしい』と感じ  
たときには、もう一度近づいて『こんばん  
は』と声をかけるようにしています。

「私はパトランをする時、すれ違う人  
の吉富さんにお話を伺いました。  
ウオーク」も行っています。チーム代表  
に必ずあいさつをします。すれ違う人  
は気持ちよくあいさつを返してくれるの  
ですが、中にはあいさつを返してくれな  
い人もいますよ。『あやしい』と感じ  
たときには、もう一度近づいて『こんばん  
は』と声をかけるようにしています。